

## 20. 大阪府てんかん地域診療連携体制整備事業 令和6年度の活動について

大阪大学医学部附属病院てんかんセンター  
貴島晴彦

### まとめ

大阪府のてんかん地域診療体制拠点事業は令和元年7月8日に拠点病院として大阪大学医学部附属病院が指定され開始となった。令和4年度からはこれまでの3年間の実績がまとめられ継続して大阪大学医学部附属病院がてんかん地域診療体制拠点として大阪府から指定されている。令和6年度も大阪府の特性を活かしたてんかん地域診療拠点体制を構築することを目指した。主な事業計画として、継続的な事業として啓発活動、教育、ネットワーク整備とした。また、府内でのコーディネーターの連絡網の整備、情報交換を実現している。これらは、特に地域での診療連携の向上に加えて、患者の利便性、さらに患者の社会資本の有効利用や社会参加につながるものである。

### 1. 概要

大阪府はてんかん地域診療体制拠点事業に参加している道府県の中では最も人口の密集している地域であり、日本で唯一いわゆる僻地が存在しない自治体であるとも言われている。また、てんかんを扱う医療施設も府内に点在している。そのため、本整備事業では協議会のメンバーが府内の複数の施設から参加している。また、それぞれの施設の診療内容、所在地や交通の面でも特徴がある。単一の施設のみでてんかんに関わる多くの問題解決を担う必要には迫られていない。しかし、キャリアオーバーに関わる問題については、この数年は本事業を通じて議論が行われている。特に令和6年度はこれまでの事業の継続した活動に加えて、令和5年度に引き続きコーディネーター間のネットワーク形成、さらに6年度から教育施設への啓発についても活動に盛り込んだ。一昨年よりオンラインでの視聴可能な教育用のビデオコンテンツを作成している。

大阪府てんかん治療医療連携協議会を例年通り2回実施した。

第1回 令和6年6月28日（金曜日）

第2回 令和7年1月23日（木曜）

### 2. 大阪府のてんかん整備事業

#### 2.1. 啓発活動、教育

医療従事者、関係機関職員、てんかん患者・家族、教育機関などに対する研修

【協議会主催】

#### 第二回大阪府てんかん治療医療連携の会

2025年2月1日 14:30~16:30 大阪大学中之島センター

第一部 :てんかん治療医療連携の現状①

★各施設から現状をご報告いただき、問題点のDiscussion

大学病院てんかんセンター

総合病院てんかん外来

てんかん専門クリニック

一般クリニック

第二部 :てんかん治療医療連携の現状②

★てんかん診療のトピックス2点を取り上げ、Discussion

てんかんに伴う精神症状に対する診療の現状

てんかんコーディネーターの現状

大阪府てんかん治療医療連携の会は昨年度から企画した事業であり、医師、コーディネーター、パラメディカル、患者団体が一堂に会して、情報の共有を行うことを目的としている。

【大阪大学医学部附属病院てんかんセンター】

#### 若手医師向けの Web コンテンツ公開 2022

(配信期間:2022年12月23日~2024年3月31日)

「すべての医師に知って欲しい!てんかんの話」

「小児てんかん診療入門」 講師：青天目信（小児科）  
「成人のてんかん・診断編」 講師：押野悟（脳神経外科）

#### 若手医師向けの Web コンテンツ公開 2023

（配信開始 2023 年 12 月 21 日～）

「小児てんかんの薬物治療 ABC」 講師：下野 九理子（小児科）  
「精神科医から見たてんかん診療について」 講師：畑 真弘（神経科・精神科）

#### 若手医師向けの Web コンテンツ公開 2024

「成人てんかんの治療について」 クーウイミン（脳神経外科）

#### 学校関係者向け Web セミナーまたはコンテンツを年度内に配信予定

#### 医療従事者向けてんかんセミナー2024

2024 年 11 月 6 日 大阪大学てんかんセミナーの開催

「笑い発作を伴う前頭葉てんかん」

入里 直樹先生（大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学）

「当院におけるフェンフルラミンの投与経験」

菅野 直記先生（大阪大学医学部附属病院 小児科 医員）

「発達期脳に及ぼすてんかん発作の影響」

「皮質形成異常を有する CDK5 欠損マウスを用いた検討」

高橋 悟先生（旭川医科大学小児科学講座教授）

#### 【市立吹田市民病院】

#### 第 5 回てんかんスキルアップセミナー～明日から使える診療のポイント～様々なてんかんの脳波

WEB 配信 2024 年 9 月 17 日

#### 第 17 回 Epilepsy Expert Meeting Web Seminar

2024 年 5 月 14 日

#### Stroke & Epilepsy セミナー 「てんかんの診断と治療」

WEB 配信 2024 年 10 月 2 日

#### 「Neurology 力」を強化する急性期の脳波：アドバンスド（音成秀一郎）

WEB 開催

#### 【大阪市立総合医療センター】

#### 市民医学講座 こどものひきつけ 2024

2024 年 9 月 21 日 14:00 ～ 16:00

大阪市立総合医療センター さくらホール

- 1 「てんかんの基礎知識 ～けいれん救急対応も含めて～」  
小児脳神経内科 医長 福岡正隆
- 2 青年期のてんかんで気をつけたいこと  
神経内科部長 三枝隆博
- 3 世界的なてんかん啓発機会パープルデーを大阪で  
事務部長 河田宏一
- 4 てんかん外科の概要：離断術を中心に  
小児脳神経内科 医長 井上岳司
- 5 子供のてんかん外科を経験して  
てんかん当事者のお父様
- 6 シンポジウム 「てんかん外科について考える」

#### 【近畿大学主催】

#### 医療・介護現場で働く方のためてんかん学びセミナー

2024 年 11 月 8 日開催

【日本てんかん協会大阪府支部】  
てんかん啓発イベント「パープルデー大阪」  
2025年3月20日（祝） あべのハルカス近鉄本店

【その他】  
小児てんかん診療アップデート  
2024年12月10日開催  
てんかん診療のUpdate～女性とてんかん～  
2025年3月17日開催予定

## 2.2. 患診療情報の共有と病院間ネットワークの形成

てんかん診療マップへ追加登録

大阪府下のてんかん診療医療機関を周知し、患者が自らアクセスしやすくなることや、他院へ紹介する際の医療設備・診療内容を分かりやすく検索することができる様にてんかん診療マップを作成している。

令和6年度に大阪府内てんかん診療マップの更新のために全施設にアンケートを実施した。

<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/home/epilepsy/search/>

診療マップ登録全施設 159施設

検索仕様の見直しをおこなった。

Nanacara for Doctor に「お知らせ（大阪府限定）」を作成し、随時講演会などの情報を取得できるシステムを平成5年度に構築し、運営を継続している。

## 2.3. てんかん相談窓口

てんかん患者や家族のための相談窓口を2020年9月よりてんかんセンターホームページ上に設置し、運用を開始している。回答者は大阪大学医学部附属病院てんかんセンターに所属する医師あるいは協議会のメンバーである。相談内容としては、現在の治療内容に関する質問、利用できる医療福祉サービスの照会、医療機関や相談窓口についての問い合わせがあった。

・てんかんセンターHPからの相談事業継続

今年度は1月時点で17件の相談があった。治療に関する相談が半数以上。適宜担当者から回答した。

・通院中患者および家族の相談対応を患者包括サポートセンターにて対応。

1月時点87件。かかりつけ医紹介、転院先案内、社会資源の紹介、説明など。

## 3. 大阪府のてんかん医療体制における課題の抽出と共有

- 移行医療について、特に自閉症、知的障害や身体障害がある合併症を持つてんかん患者について。特に成人期。
- 精神症状合併の対応について
- 発作時の診療について
- てんかん診療を謳っていても実際には十分に対応できない施設があるのではないかな。
- 二次医療機関との繋がりが見えにくい。
- 診断書の要望にどのように対応するのか。特に就労に関して。
- ビデオモニターのできる施設が限られている。